

アポイ、ウペペサンケ、定山溪天狗岳 北海道の秋山巡り

このところ、家族で年一回山に行くことが恒例となっていて、今年は9月始めに雲の平に出かける予定でしたが、私が体調を崩し、10月中旬の北海道の山に変更となりました。この季節では、大雪などは積雪も多く、冬山になってしまうので、道内で人気のある、上記の3山を登ることにしました。ちょうど大きな寒気が来て、北海道だけが雨マークになっていたため、予定のルートは無理かなと思っていましたが、千歳に着いてみると、青空が覗いていたので、レンタカーでアポイ岳へ向かいました。登山口の立派な駐車場に着いたのは12過ぎで、他に駐車している車はありません。

この山は、日高山脈の最南端に位置し、標高は900mちょっとしかありませんが、高山植物も豊富なことから人気のある山です。また、容易に登れることから、高山植物の盗掘が以前から問題になっています。登山口からよく整備された道を1時間程歩くと、中間点の小屋のある台地に着きます。途中、高山植物の盗掘を諷める小学生の標語が並んでいました。小屋からは、ハイマツの稜線歩きとなり、頂上までの登りは、海に近い山だけに、海岸と山の両方の景観を楽しむことができます。さすがに、花は、マツムシソウとキキョウが一輪づつ残っていた位でしたが、夏のシーズンは素晴らしい眺めなのでしょう。頂上はダケカンバが茂ってそれ程眺望は良くありませんでした。ハイマツ帯の上にダケカンバがあるという、ちょっと混乱させられる景観です。

海に近く、標高の低い山なのに、山登りをしている感じを楽しめるのは、さすがに北海道の山です。この日は金曜日だったためか、他に登山者はなく貸切状態でこの山を楽しむことができました。

その日は、登山口の近くにあるアポイ山荘に泊まりましたが、ここは、昨年天皇陛下夫妻が泊まったとのことで、内装も綺麗で、温泉と展望が素晴らしいところでした。

翌日は観光モードに切り替え、エリモ岬、オンネトー、阿寒湖、美幌峠と道東の観光地をドライブし、糠平のホテルに泊まり、翌日の登山に備えました。

翌朝、6時前にホテルを出て、砂利道の林道を7キロ走って、ウペペサンケ山の登山口に着きます。日曜日でしたが、やはり、駐車場に他の車は見当たりませんでした。この山は、大雪山系の最南端に当たる山で、長い稜線からの眺めが素晴らしいとのことで、人気があります。登山口から、倒木の多い、あまり整備されていない登山道をひたすら登って、1399mピークに着きますが、途中からは雪道に変わりました。このピークからウペペサンケまでの稜線の展望がこの山の売りなのですが、山はガスに包まれ、展望は殆どききません。麓の糠平温泉の方は陽があたっているようなのですが、ここは時々雪がちらついています。冬山のような霧氷を楽しみながら1610mピークを過ぎて糠平ピークに向かいましたが、吹きさらしの稜線は冷たい風が強く、展望もきかないので、無理をすることも無いと、途中で引き返すことにしました。

山を降りて、層雲峡で昼食をとり、札幌に着いたのはそれでも17時頃になってしまいました。北海道に仕事で来ている息子と合流し、親子4人でお茶を飲み、その後、その日の宿舎のある定山溪に向かいます。泊まったのは、ついこの間まで、三共の寮だったところで、見違えるような綺麗な建物になっていました。

翌朝、8時過ぎに宿を出て、定山溪天狗岳に向かいます。この山は、紅葉の名所として有名で、道内の人には人気のある山です。登山口の駐車上は思ったより小さく、10台分ありませんが、幸い、私達の車だけです。登山届けを見ると、前の日は日曜日で3組の登山者が記帳されていました。その前の週には10組以上の登山者があったことから、この山の紅葉のシーズンはその頃とされているのですが、今年の紅葉は10日くらい遅れていて、幸い紅葉のピークに入山できたようです。この山の山頂部は切り立った岩山になっていて、遠くからその特異な山容に気づくことができます。そういえば、高校生のころ、小樽の天狗山から眺めて、登ってみたいと思ったのはたぶんこの山です。

駐車上から林道を30分くらい歩いた所が登山口となります。登山道はここから一直線で頂上に向かっていきます。最初に登りたいと思った人が頂上めがけてしゃにむに登った道がそのまま登山道になったというような印象を与えるルートです。登山道は最初は沢沿いの道を進み、途中の滝を高巻いてそのまま頂上付近の岩峯の基部まで突き上げます。けっこう急な登りが続きますが、なんとといっても、紅葉の素晴らしさが苦勞を感じさせません。頂上に突き上げるルンゼが一番の難所ということになっていますが、ここはロープが張ってあるので、そのままロープを頼りにグイグイ登るだけです。それよりも、ルンゼに取り付くまでの道が凍っていて、ステップが切れず、いやらしい箇所でした。ナナカマドの木のある、あまり広くない頂上は、札幌近郊の山々や羊蹄山など、360度の展望を楽しめます。車で1時間足らず距離にこんな山があるなんて、札幌の人は恵まれていると思うのは、山好きの人間だけでしょうか？紅葉を楽しみながら登った道を引き返し下山し、今回の山行を終えました。

今回登った山はいずれも標高の高い山ではありませんが、北海道の山ですので、ハイマツやダケカンバに覆われた山は思った以上に深い山という印象を与えます。また、登山道も、観光登山の山道とは一味違ったワイルドな感じの道の山も多く、山のベテランでも楽しめると思います。北海道に旅行されるときは、どこか一つでも、山登りを付け加えてみたらいかがですか。

コースタイム

アポイ岳：

登山口(12:10) - 小屋(13:10 ~ 20) - 山頂(13:50-14:20) - 登山口(15:50)

ウペペサンケ山

登山口(6:20) - 1339mピーク(7:25) - 1610mピーク(8:35) - 分岐(8:45) ここで引き返す。

定山溪天狗岳

駐車場(8:20) - 登山口(8:50) - 高巻地点(9:50) - 頂上(11:15-11:15) - 登山口(13:25)

ア
ポ
イ
岳



ウ
ペ
ペ
サ
ン
ケ
山



定
山
溪
天
狗
岳

